

わたしの 妊娠報告書

記載日 2020年 1月 10日

おめでた宣言日	2019年 10月
年齢 (35) 歳	平成 () 年 () 月 結婚
私は (体外受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2) 年 (4) ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (卵管拡張術)
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法	約 (10) 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法	() 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精	() 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精	(2) 回 他院で 8 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input type="checkbox"/> 体外受精	(3) 回
<input type="checkbox"/> 顕微授精	() 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

なるべく身体を冷やさない事や、カクインスのものを摂取するなど、身体に入りの物に注意を払った事や、友人で不妊治療している子に治療の選択肢等教えてもらいました。ストレスを見定めとよくないので、辛い時は体外受精で涙を流し、夫や親に思いをぶつけ、言葉を聞いてもらったり、職場にも理解を得る為、はじめから治療していることをオープンにして休みを夏の時等にお互いのストレスに合わせよう様にしました。先生に、今必要はサプリメントを伺い、それも取り入れました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

はじめの検査でAMHが低値に比べて、不妊治療、はじめから壁にぶつかった様な気持ちでいた。タイミングがうまく卵管造影で左閉塞、右狭窄がわかり検査は激痛でした。人工授精を経て体外受精。自己注射に採卵、移植と不安は抱いていたが、先生や看護師さん、手厚いサポートがあったので、安心して治療にのぞきこぶことができました。

その他 (通院・治療費・家族など)

不妊治療への理解を、天から得るのは、はじめの苦戦は、自分がまだ体外受精まで治療を再開すると思ってもおぼろげだったので、「どこまでするか」「いつまでするか」「金銭面等」といまでもタイミングの取り方等で何度も夫と衝突し、治療が止まらないうちに感じた事もありましたが、何度も夫に説明、合意している事を伝え、まわりの友人にも助けを借り、納得しました。どこまで理解してくれているのか？と思って心配もしていたが、流産した時にすくまなくて、その時に初めて、夫と一緒に治療に向き合っていたのだと身付き、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

治療中の方へのアドバイス

自分が一番辛かったのは、精神面。周りはどんどん妊娠・出産していくのに、自分はなかなか思う様にいかず、ステップアップに戸惑っていました。人とは比べない。「夫婦として必要は時にちゃんと来てくれる」と考える様にし、自分は自分と淡々と治療に励むことに専念しました。病院に通っておらず、他の方もみんな同じ様に元気でいるんだと思うと、救われた事もありました。

スタッフへのご意見など

いつも淡々とおっしゃる中山先生が、「今日で卒業です」と笑顔で言ってくれた時に、この笑顔はこの時用に置いてあるのかもしれないと、嬉しく思いました。中山先生・奥高先生共に的確に説明や治療をして頂き、とても信頼を置いて安心してやることができ、又、看護師さんのお気さくな言葉かけに、ものすごく励み、優遇に感謝、涙した事もありました。本当に感謝がいっぱい。psカネーヌで治療できて本当に良かったです。